

新技術調査表 (1)

		登録番号	0601006				
名 称	リペアコント			作成年月日	平成28年2月23日		
				更新年月日	平成28年2月23日		
副 題	ノーブリーカータイプ伸縮装置定着システム			開発年月日	1980年10月31日		
分 野	1 共 通 3 公 園 5 海 岸 7 その他	② 道 路 4 河 川 6 砂 防 防	区 分	② 1 材 料 3 工 法 3 製 品 4 機 械 5 その他	大 分 類	特 記 項 目	
					道路維持		作業時間の短縮、労力の削減 低騒音、低振動（騒音の削減）
開 発 者 等	開 発 会 社	会社等名	アサクラ理研工業株式会社		担当部署		
		担当者名	朝倉健介		TEL	03-3749-6511	
	提 案 会 社 兼 問 い 合 せ 先	会社等名	アサクラ理研工業株式会社		担当部署	営業部	
		担当者名	清川恵一	〒	157-0073	TEL	03-3749-6511
		住 所	東京都世田谷区砧2-17-7		FAX	03-3749-6515	
ホームページ	http://asakura-riken.jp/		e-mail	info@asakura-riken.jp			

【概 要】

「リペアコント」は、パイプジャッキ、システムアンカー等から構成され、伸縮装置のアンカーボルト下面に埋設される装置で、常時は伸縮装置を支持するとともに、損傷を受けた伸縮装置部の取替得時に於いては、本装置の扁平なステンレス製のパイプジャッキに外部から水圧を加えることによる膨張圧で伸縮装置のアンカーボルト下面のパイプジャッキ設置面で面破断させ、後打コンクリートをブロック状に一括撤去を可能とする装置である。「リペアコント」を設置することにより、伸縮装置の取替時に於いて従来工法のようにブリーカーを使用してアンカー部コンクリートを破壊する打撃音が発生しない。

【特 徴】

- ① 作業騒音を大幅に低減できる。
- ② 作業時に振動、塵埃が生じない。
- ③ アンカー部コンクリート（一車線）を短時間で、面破断により一括撤去することができる。
- ④ 床版等の本体構造物に損傷が生じない。
- ⑤ 作業時の労力・時間が大幅に短縮できる。
- ⑥ 低騒音・低振動工法であるため作業時間帯の制約を受けない。
- ⑦ 周辺環境や作業環境を良好にするものである。

《リペアコントをセットした状態》



《コンクリート撤去の状況》



新技術調査表（2）

実績件数	東京都： 件 国土交通省： 件 その他公共機関： 501件 ※平成28.2月現在 1839.325m 民間： 件	(内訳) 東京都	建設局： 件 都市整備局： 件 港湾局： 件	水道局： 件 下水道局： 件 交通局： 件 その他： 件
特許	①有り	2出願中	3出願予定	4無し (番号： 5084237・3822341)
実用新案	1有り	2出願中	3出願予定	4無し (番号：)
評価・証明	1 技術審査 (番号： 第25号) ・証明年月日 (8.6.10) (労働経済局)		2 民間開発建設技術 (番号： 技審証第0003号) ・証明年月日 (1995年11月1日) ・証明機関 ((財) 道路保全技術センター)	
キーワード	3 新技術情報提供システム[NETIS] (番号：) 登録年月日：)			
	1 安全・安心 ②環境 3 ゆとりと福祉 4 コスト縮減・生産性の向上 5 公共工事の品質確保・向上 6 リサイクル 7 景観			
開発目標 (選択)	自由記入			
開発目標 (選択)	1 省人化 2 省力化 3 作業効率向上 4 施工精度向上 5 耐久性向上 6 安全性向上 ⑦作業環境の向上 ⑧周辺環境への影響抑制 9 地球環境への影響抑制 10. 省資源・省エネルギー 11. 出来ばえの向上 12. リサイクル性向上 13. その他			
従来との比較	従来の材料名・工法名： 1 工程【1短縮 (%) 2同程度 3増加 (%)】 () 2 省人化【1向上 (%) 2同程度 3低下 (%)】 () 3 経済性【1向上 (%) 2同程度 3低下 (%)】 () 4 施工管理【1向上 2同程度 3低下】 () 5 安全性【1向上 2同程度 3低下】 () 6 施工性【1向上 2同程度 3低下】 () 7 環境【1向上 2同程度 3低下】 () 8 汎用性【1向上 2同程度 3低下】 () 9 品質【1向上 2同程度 3低下】 () 10 その他 ()			
<p>【材料費】○標準 ・ 暫定</p> <p style="text-align: center;">632,800円/3.6m</p> <p>【施工上・使用上の留意点】</p> <p>○ 撤去の際、カッターでパイプジャッキを切断しないよう充分注意する。</p> <p style="padding-left: 20px;">(カッターの切断深さを設置のパイプジャッキの上端より1~2cm浅く切ること)</p> <p>【参考資料】</p> <p>○ 「リペアコント製作要領書」</p> <p>○ 「リペアコント設計仕様書」</p> <p>○ 「リペアコント取付マニュアル」</p>				

新技術調査表 (3)

【システムアンカー引張強度試験】 (1本あたり)

適正值 1,000 k g f ±200 k g f / 本

検査・試験データ等



(於 一般財団法人 建材試験センター 中央試験所)

建設局
事業への
適用性

<道路・橋梁の新規ジョイント>

○新規ジョイント設置の際にセットすることが最も望ましい。

<道路・橋梁のジョイント取替え>

○ジョイント取替え時に低騒音・低振動により周辺環境・時間規制等に旧工法より優れている。

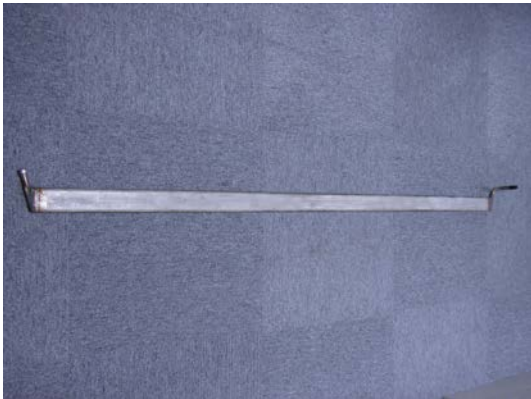
○集中的なジョイント取換え時にも短時間で対応できる。

新技術調査表 (4)

【材料表】 ※3.6mあたり

- ① パイプジャッキ (SUS 304TP扁平管) 4本
- ② システムアンカー (SGD3M) 72本
- ③ システムアンカー取付治具 (SS400) 8本
- ④ 吊金具 (SS400) 4本
- ⑤ 注入口キャップ (CRゴム) 4本

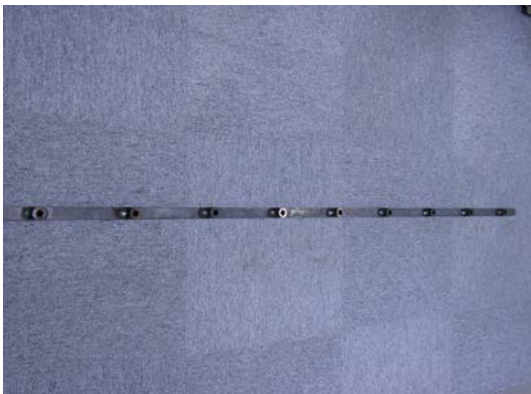
①



②



③



④



⑤



新技術調査表（5） 《実績表》

	局名	事務所名	工事件名	施工期間	CORINS 登録 No.
東京都における施工実績					
	【評価等がある場合、その内容】				
東京都以外の施工実績（国土交通省・地方自治体・民間等）	発注者	工事件名	施工期間	CORINS 登録 No.	
	首都高速道路株式会社	1 2 4 箇所 施工延長合計 459.16m	昭和 5 5 年 1 2 月 ～平成 2 2 年 4 月		
	阪神高速道路株式会社	3 6 1 箇所 施工延長合計1323.195m	平成 3 年 3 月 ～平成 2 7 年 5 月		
	東日本高速道路株式会社	1 5 箇所 施工延長合計 54.0m	平成 5 年 9 月 ～平成 7 年 8 月		
	中日本高速道路株式会社	1 箇所 施工延長合計 2.97m	昭和 6 3 年 1 1 月		
【評価等がある場合、その内容】					※当実績は平成28.2月現在